

てらこや埋文

2006年
春

「遺跡」の上で学ぶ

山口大学の全キャンパスは遺跡です

新入生の皆さん、山口大学入学おめでとうございます。ここでひとつ、皆さんに重要なお知らせがあります。

皆さんがこれからの数年間勉学に励むことになるこの大学キャンパスの地下には、実は「遺跡」が埋もれています。山口市吉田キャンパスの地下には「吉田遺跡」が、宇部市小串キャンパスの地下には「山口大学医学部構内遺跡」が、宇部市常盤キャンパスの地下には「山口大学工学部構内遺跡」が埋もれているのです。この他にも、山口市白石地区（教育学部附属幼稚園、山口小・中学校）の地下には「白石遺跡」が、光市光地区（教育学部附属光小・中学校）の地下には「月待山（つきまちやま）遺跡・御手洗（みたらい）遺跡」が埋もれています。

つまり、皆さんは山口大学に入学することによって大学教育を受ける機会を得ると同時に、「遺跡」の上で歴史を体感する幸運をも手に入れたのです！

山口大学埋蔵文化財資料館で学べること

埋蔵文化財資料館は、大学の地下に埋もれるこれらの遺跡の調査・研究を担当する施設です。私たちは、大学内で地下の掘削を伴う開発工事などが計画された場合に、遺跡の保護を第1目的として発掘調査をおこなっているのです。

発掘調査とは、土を掘りかえて何かを発見して終了…というものではありません。調査によって得られた様々な資料（土器や石器など）や情報（建物や墓の痕跡や土の堆積状況など）を研究し、調査成果報告を社会に広く公開しなければ真の意味での発掘調査は終了しないのです。

そこで当館では、常設展示として山口大学内の遺跡の調査成果を公開しています。具体的には、山口大学のどの地域で何が発見されているのかを写真やイラストをまじえて解説し、実際に出土した旧石器時代から江戸時代までの実物資料の展示をおこなっています。つまり当館では、約3万年前から150年前までの人類の活動記録を一気に学ぶことができるのです。

今年度の常設展は…

平成18年度の埋蔵文化財資料館常設展は、『山口大学の遺跡～吉田遺跡展～』というタイトルで、4月3日（月）より開催します。新入生をはじめまだ「山口大学の遺跡」を学んだことのない学生・教職員の方々、埋蔵文化財や考古学に興味をお持ちの市民の皆様、是非一度足をお運びください。館員一同心よりお待ちしております。

当館で楽しく学ぶためのポイントは…

- 1 実物資料（本物の土器や石器など）をじっくりと観察する
- 2 当館で学んだ後はキャンパスを散策し、昔の人々の生活風景を想像する
- 3 展示室の寒さ暑さを気にしない…

（横山成己）



山口大学の遺跡
～吉田遺跡展～

平成18年度 山口大学埋蔵文化財資料館常設展

山口大学の遺跡 ～吉田遺跡展～

開催場所 国立大学法人山口大学埋蔵文化財資料館
 開催期間 平成18年4月3日（月）～平成18年9月29日（金）
 開館時間 午前9時～午後5時
 休館日 土・日曜日、祝祭日
 ※休館日に入館ご希望の方は、事前にご連絡ください。
 団体のお客様に限り対応いたします。
 入館料 無料



吉田キャンパスの遺跡保存公園

大学は「遺跡」の中に立地しています

山口大学は吉田キャンパスをはじめ、各キャンパスは「遺跡」の中に立地しています。当館は、1978年（昭和53）にこれら大学キャンパス内の遺跡（埋蔵文化財）を保護するために設立されました。以後、施設整備などにより、遺跡が破壊される可能性がある場合に発掘調査をおこなっています。

さて、皆さんは吉田キャンパスに遺跡の保存地区があるのをご存じですか？ 吉田キャンパスでは、第1学生食堂（ポーノ）の南西側と大学会館南側に遺跡の保存地区があり、美しい公園として整備されています。今回は第1学生食堂南西側の遺跡保存公園についてご紹介します。

第1学生食堂南西側の遺跡保存地区

第1学生食堂の南西側にあたるこの地区では、発掘調査をおこなった結果、弥生時代から古墳時代におよぶ竪穴住居跡 21 棟のほか、河川跡、溝などが多数みつかっています。また、集落跡はこの地区からさらに広がっていたことがわかっています。

この地区は時代ごとに変化する住居の規模・構造や集落の形態・範囲などを知ることができ、学術・研究上とくに貴重なため、遺跡の上に土盛りをして保存しています。そして、5棟の竪穴住居跡をカラータイルで地表に示し、河川跡には白い石を敷き、文章と発掘調査時の写真による説明版を設置した一種の野外博物館となっています。また、遊歩道やベンチを設置しており、昼休みには多くの学生や教職員でにぎわう憩いの場としても利用されています。

現在、埋蔵文化財資料館でおこなっている平成18年度常設展『山口大学の遺跡～吉田遺跡展～』では、遺跡保存公園を発掘調査したときの写真や出土した土器などの遺物を展示中です。詳しいことを知りたい方はお気軽にご来館ください！！

（田畑直彦）



竪穴住居跡に設置された説明版
(第13号竪穴住居跡)

僕たちのムラが大切に
保存されているんだね…



第1学生食堂南西側の遺跡保存公園

埋蔵文化財の仕事 vol.4

このコーナーでは、多岐にわたる埋蔵文化財の仕事を紹介します。埋蔵文化財の仕事では土を掘る体力も必要ですが、実は正確さ・緻密さが非常に重要で、根気のいる作業が多いのです。今回紹介する埋蔵文化財の仕事は…

拓本 (たくほん)

拓本とは、遺物の文様や文字を紙に写し取ることです。

～使用するもの～



～復元の方法～

1. 新聞を広げ、土器をその上に出します。
2. 画仙紙を土器より少し大きめに切り、それで土器をつつみます。裏側をメンディングテープで留めます。
3. 水で湿らせた脱脂綿で上から軽く押さえ空気を抜き、土器と紙を少しずつ密着させていきます。
4. 画仙紙が白くなって半乾きの状態になったら、打墨の準備をします。大タンポに墨を取り、小タンポとよく擦り合わせ、均一に小タンポに墨が移るようにします。小タンポの墨の濃度をみるために、新聞紙などに試し打ちをします。



5. 墨の濃度が良さそうなら、画仙紙を貼った土器に墨を入れていきます。全体に均一に墨が入ったら、画仙紙を土器から剥がします。シワを伸ばしてから、新聞紙や雑誌にはさみ乾かします。

(植木美佳)

完成!

古代の知恵に挑戦 vol.4

石庖丁をつくってみよう

現在稲は機械や鎌で根本から刈り取っていますが、弥生時代には石庖丁と呼んでいる道具を使って稲の穂だけを刈り取っていました。そこで今回は、前回の火おこしで使った火おこし道具を利用して石庖丁をつくってみます。

①材料



平らな石を選ぶと削る手間が少なくて済みます。

②用意するもの



①砥石(大) ②砥石(小)
③弓と棒 ④棒の先につける石器

③平らになるように削る



水をかけながら砥石で削り、板状に薄くしていきます。

④刃をつける



一边を研いで刃をつけます。

⑤孔を開ける



指にかける紐を通す孔を開けます。今回は火おこし用の道具を使いました。棒の先端に錐(きり)状の石器をつけ、弓で回転させます。

⑥完成品



両面から孔を開けていきます。右側の孔は大幅にずれてしまいましたが、無事貫通しました。麻紐を通して完成です。

⑦刈る



稲穂がない時期なので、代わりにススキを刈ってみました。

成功のポイント

- ・硬い石を選ぶと、つくるのに時間がかかります。
- ・錐状の石器は真っ直ぐなものを使いましょう。曲がったものだと回転軸が定まりません。
- ・真っ直ぐな錐状石器がうまくつくれない場合は、弓を使わず手で回転させるとうまくいくかもしれません。

(有本浩紀)

山口市歴史民俗資料館

山口市歴史民俗資料館は、山口県庁の南西側、国道9号に面した場所に位置します。市内の小学校の歴史学習には欠かせない場所となっており、入館者は年間約5000人を数えます。

展示室は、「灯り」をテーマにした民具、市内出土の考古資料、大内氏関連遺跡、企画展示の各スペースに分かれています。考古資料コーナーでは、実際に遺跡から出土した遺物が時代別に並べられており、遺跡分布図や大内氏関連町並遺跡の土層の剥ぎ取り展示がされているなど、遺跡をより身近に感じることができる空間になっています。

大谷博昭館長に、展示内容についてお話をうかがいました。

(質問) 展示をおこなう上で重要視されていることは何ですか？

大谷 「身近なテーマを展示することが使命だと考えています。地域の歴史や文化を紹介し、あまり知られていないような山口の歴史を確認できる展示をおこなってきたいです。」

(質問) 資料展示で注意されていることはありますか？

大谷 「展示物を傷めないために照明を弱くしているので、展示室は多少暗めになっていますが、その中でも説明パネルなどが読みやすいように文字はできるだけ大きくしています。今後は、大内氏館の復元模型など、観覧者がイメージしやすい展示物を増やしていきたいです。」

山口市歴史民俗資料館では、4月23日(日)まで『花鳥画展』が開催されており、その後は4月25日(火)から6月25日(日)まで『懐かしい山口の町並み展(仮称)』が開催されます。今年度はこの他にも様々な企画展示が予定されているそうです。今後の動向にも是非ご注目ください！

(有本浩紀)



山口市歴史民俗資料館外観



山口市歴史民俗資料館展示室

お問い合わせ先
山口市歴史民俗資料館
〒753-0073
山口市春日町5-1
Tel 083-924-7001

2006年冬 埋蔵文化財資料館の活動

1月 1/5(木)～26(木)
吉田構内教育総合研究センター(吉田遺跡)で立会調査を実施。
1/6(金)
医学部エネルギーセンター棟(山口大学医学部構内遺跡)で立会調査を実施。

2月 2/8(水)・9(木)
吉田構内教育総合研究センター(吉田遺跡)で立会調査を実施。
2/17(金)
光構内(御手洗遺跡・月待山遺跡)で立会調査を実施。
2/17(金)
工学部本館(山口大学工学部構内遺跡)で立会調査を実施。
2/20(月)～2/27(月)
吉田構内農学部実験動物施設(吉田遺跡)で立会調査を実施。
2/25(金)
第21回企画展『古墳の世界～山口県古墳を探る』終了。入館者総数451名。
多数のご来観ありがとうございました。来年度の企画展もよろしくお願ひします。

3月 3/1(水)～3/31(金)
展示替えのため休館。
3/24(金)
第1回学術情報機構埋蔵文化財特別展
『あしもの遺跡シリーズ1 古代の吉田遺跡』(於:山口大学総合図書館)終了。
来年度も新たな展示を行う予定です。総合図書館に入館される方は是非ご覧ください。



テスト前に企画展を熱心に観覧する山口大学生



光構内での立会調査